広報 瀬戸

発行所　愛媛県西宇和郡瀬戸町
編集総務
TEL 瀬戸局(代表) 12
町長室
(市外局番089452)
西ノ浜支所 TEL 大久局
(市外局番089453)

4月は
固定資産税一期分
軽自動車税
の納期月です

火災とまぎらわしい煙り
または火災を発するおそれ
のある行為は消防長(町長)
に届け出ましょう

三月定例町議会の議案

上甲町長施政方針要旨

昭和四十六年度を迎えるに当りまして所信の一端を申し述べ、御賛同と御協力をお願いするものであります。

顧みますると昭和四十二年十月町民各位の絶大なる御賛同と御支援御協力をいただき町政担当以来、且又公約の実現迄に精魂を傾注して参りました。その間重要なる諸業も漸次遂行されつつあり、町政諸施策の基盤も漸くその緒につきましたことは、ひとえに皆様方のたゆまぬ御協力の賜物だと深く感謝するところであります。

今日の社会経済的に発展しつつあると申されますが、そのような発展発展をとなるよう働きかけると共に、本町としてもこれ等諸計画にマッチする町独自の開発事業を計画し、よりよい生活環境づくりを推進し、住みよいある社会建設を進めたいと考えているものであります。

このための町政担当の基本方針として、

①住みよい生活環境の整備
②経済面で明るい社会の確設
③公害のない人間尊重の経済開発

このような重点を中心として、過去塩中開発中と申しても等の確立をかかげ、政策をよかった本町経済開発の基本的課題も大方の見通しが立つに至りましたので、今後は過去三年有余の実績の上に立って、中央官庁は勿論、地域経済団体等との連絡、係協調体制をとり、町政がら全精力を傾注し、町政の進展に努力する覚悟であります。

御承知のように本町の財政は、はなはだ貧困な状況にあり、且又御同じ様に、財政力の弱い町民各位の御犠牲、御協力の賜物だと深く感謝をするところであります。

今日の社会経済的に発展しつつあると申されますが、そのような発展発展をとなるよう働きかけると共に、本町としてもこれ等諸計画にマッチする町独自の開発事業を計画し、よりよい生活環境づくりを推進し、住みよいある社会建設を進めたいと考えているものであります。

このための町政担当の基本方針として、

①住みよい生活環境の整備
②経済面で明るい社会の確設
③公害のない人間尊重の経済開発

このような重点を中心として、過去塩中開発中と申しても等の確立をかかげ、政策をよかった本町経済開発の基本的課題も大方の見通しが立つに至りましたので、今後は過去三年有余の実績の上に立って、中央官庁は勿論、地域経済団体等との連絡、係協調体制をとり、町政がら全精力を傾注し、町政の進展に努力する覚悟であります。

まる三月の定例議会において議決されました。昭和四十六年度当初予算は以上申述べました要旨を骨子として、本年度予算のできる限り予定の

合自主財源としては、わずかの見込み、総合算主義その他　五四一、九〇五

か・・・予算は単一。

となっております、本年度当初の事業を行うにも、県の御賛同しておりますが、尚、関・・・

後援に対しよろしくお願いする・・・

的に向付をして行きたいと思うのであります。

以下予算の概要について申上げますると

会計別

本年度当初予算額

（単位千円）

一般会計	四二二、四三八
国保特別会計（療養勘定）	五五五、八七五
同（診療勘定）	一三、八四三
港湾整備事業特別会計	五、五九六
合計	五〇四、四九一

となっておりまして前年度比べまして

一般会計　四二、八七五増
国保事業勘定　二、三八九減
同（診療勘定）　三二三増
港湾整備事業特別会計　七五一減
港湾整備事業会計　二、六五六減

となっております。

財源の厳ねこ分の一相当を一般会計に繰入れ、県補助金と記録に依存しております。

（千円）

総債	一二三、七九五
その他	一三、三〇〇
一般財源	二一二、九四二

となり、一般財源の主なものは、地方交付税一九三、四一千円と昭和四十五年七二一千円、昭和四十五年度実績に対する一二・四%増を見込んでいる訳であります。

歳出におきましては

（単位千円）

人件費	八四、三九三
物件費	五六、五一八
維持補修費	五、六一四
扶助費	二七、二九六
投資的経費	二三、七二二

①住宅建設費　一、〇〇〇千円
②環境改良事業三三、四一一千円
③地域改良事業及び新規事業を含める総事業予定しており、農業生産基盤

④道路対策事業七、四七九千円
⑤港湾整備事業特別会計　六、七三九
（単位千円）

一般会計	四二二、四三八
国保特別会計（療養勘定）	五五五、八七五
同（診療勘定）	一三、八四三
港湾整備事業特別会計	五、五九六
合計	五〇四、四九一

比べまして

一般会計　四二、八七五増
国保事業勘定　二、三八九減
同（診療勘定）　三二三増
港湾整備事業特別会計　七五一減
港湾整備事業会計　二、六五六減

となっております。

財源の厳ねこ分の一相当を一般会計に繰入れ、県補助金と記録に依存しております。

（千円）

総債	一二三、七九五
その他	一三、三〇〇
一般財源	二一二、九四二

となり、一般財源の主なものは、地方交付税一九三、四一千円と昭和四十五年七二一千円、昭和四十五年度実績に対する一二・四%増を見込んでいる訳であります。

歳出におきましては

（単位千円）

人件費	八四、三九三
物件費	五六、五一八
維持補修費	五、六一四
扶助費	二七、二九六
投資的経費	二三、七二二

①住宅建設費　一、〇〇〇千円
②環境改良事業三三、四一一千円
③地域改良事業及び新規事業を含める総事業予定しており、農業生産基盤

⑤港湾整備事業七、四七九千円
（単位千円）

一般会計	四二二、四三八
国保特別会計（療養勘定）	五五五、八七五
同（診療勘定）	一三、八四三
港湾整備事業特別会計	五、五九六
合計	五〇四、四九一

比べまして

一般会計　四二、八七五増
国保事業勘定　二、三八九減
同（診療勘定）　三二三増
港湾整備事業特別会計　七五一減
港湾整備事業会計　二、六五六減

となっております。

財源の厳ねこ分の一相当を一般会計に繰入れ、県補助金と記録に依存しております。

（千円）

総債	一二三、七九五
その他	一三、三〇〇
一般財源	二一二、九四二

となり、一般財源の主なものは、地方交付税一九三、四一千円と昭和四十五年七二一千円、昭和四十五年度実績に対する一二・四%増を見込んでいる訳であります。

歳出におきましては

（単位千円）

人件費	八四、三九三
物件費	五六、五一八
維持補修費	五、六一四
扶助費	二七、二九六
投資的経費	二三、七二二

①住宅建設費　一、〇〇〇千円
②環境改良事業三三、四一一千円
③地域改良事業及び新規事業を含める総事業予定しており、農業生産基盤

⑥道路対策事業七、〇七〇、〇〇〇千円
⑦道路対策事業第一七、〇〇〇千円神崎金木線道路改良二、〇〇〇千円
⑧道路対策事業第一七、〇〇〇千円、継続事業の小島川之浦線道路改良の促進
⑨長崎城跡発掘事業第一三、二〇〇千円は新規事業三、〇〇〇千円、繰越事業三二〇〇千円
⑩同和対策事業七、一五〇千円は新規道路整備を予定しています。

⑪消防施設整備事業四、八〇〇千円は消防自動車一台二、六〇〇千円、防火水そう新設二基一、八〇〇千円、小型動力ポンプ台四〇〇千円等を予定しています。

⑫外輪災害復旧費四七、九四一千円は道路災害十一件八、四七三千円、林地災害一件九三〇千円、港湾施設災害四件三四、七八〇千円、港湾施設災害

農地法改正後の小作地について

昭和四十五年十月一日の農地法改正により、不在地主の所有制限、転貸小作料の規制、小作契約の解約の規制が大の に改められ、農地が開発の大きな要件の高い経営によって、他産的に利用されるようになりましたが、農地を造って別明しますと、

①「小作料の所有制限はどう変ったか」

農家がその所作を安全にやめて農業委員会の認定を受けた場合には、その他の市町村へ住所を移

[illegible]

国民年金制度の利用について！

工場視察報告

戸町三区に新工場（従業員四〇〇名）の進出を計画し上級関係）及び水の問題が安くするよう、給水するとなることができることとなりました。

だより

[illegible]